

代金の問題 ①（表つき）

表をうめて、等しい量を見つける

なまえ _____

ひづけ _____

表をうめて、①xをおく→②表→③等しい量で方程式→④解く→⑤確かめる の順に解こう。

- ① 1個90円のパンと1個60円のドーナツを、合わせて14個買ったら、代金は1110円でした。
パンは何個買いましたか。

① x は (_____)

	1個の値段	個数	代金
パン			
ドーナツ			
合計			

③ 等しい量

⑤ 答え

④ ここに方程式をつくって解こう（確かめも書く）

- ② 1個70円の消しゴムと1個110円のボールペンを、合わせて16個買ったら、代金は1520円でした。
消しゴムは何個買いましたか。

① x は (_____)

	1個の値段	個数	代金
消しゴム			
ボールペン			
合計			

③ 等しい量

⑤ 答え

④ ここに方程式をつくって解こう（確かめも書く）

- ③ 1個200円のシュークリームと1個150円のプリンを、合わせて12個買ったら、
代金は2050円でした。シュークリームは何個買いましたか。

① x は (_____)

	1個の値段	個数	代金
シュークリーム			
プリン			
合計			

③ 等しい量

⑤ 答え

④ ここに方程式をつくって解こう（確かめも書く）



代金の問題 ① (表つき) 【こたえ】

こたえ・考え方・先生へ

なまえ _____

ひづけ _____

① パンをx個買ったとする。

	1個の値段	個数	代金
パン	90円	x個	90x円
ドーナツ	60円	(14-x)個	60(14-x)円
合計		14個	1110円

$$\begin{aligned}\text{式 } 90x + 60(14 - x) &= 1110 \\ 90x + 840 - 60x &= 1110 \\ 30x + 840 &= 1110 \\ 30x &= 270 \\ x &= 9\end{aligned}$$

確かめ $90 \times 9 + 60(14 - 9) = 1110$ (問題の1110と同じ)

答え パンは9個(ドーナツは5個)

考え方 合わせて14個なので、ドーナツは14からxをひく。代金の合計が1110円と等しい。

② 消しゴムをx個買ったとする。

	1個の値段	個数	代金
消しゴム	70円	x個	70x円
ボールペン	110円	(16-x)個	110(16-x)円
合計		16個	1520円

$$\begin{aligned}\text{式 } 70x + 110(16 - x) &= 1520 \\ 70x + 1760 - 110x &= 1520 \\ -40x + 1760 &= 1520 \\ -40x &= -240 \\ x &= 6\end{aligned}$$

確かめ $70 \times 6 + 110(16 - 6) = 1520$ (問題の1520と同じ)

答え 消しゴムは6個(ボールペンは10個)

考え方 合わせて16個なので、ボールペンは16からxをひく。代金の合計が1520円と等しい。

③ シュークリームをx個買ったとする。

	1個の値段	個数	代金
シュークリーム	200円	x個	200x円
プリン	150円	(12-x)個	150(12-x)円
合計		12個	2050円

$$\begin{aligned}\text{式 } 200x + 150(12 - x) &= 2050 \\ 200x + 1800 - 150x &= 2050 \\ 50x + 1800 &= 2050 \\ 50x &= 250 \\ x &= 5\end{aligned}$$

確かめ $200 \times 5 + 150(12 - 5) = 2050$ (問題の2050と同じ)

答え シュークリームは5個(プリン7個)

考え方 合わせて12個なので、プリンは12からxをひく。代金の合計が2050円と等しい。

先生へ

- ・つまずきやすい所: 「合わせてN個」から、もう一方の個数を $N - x$ と表す所と、代金=値段×個数を表の中で式にする所で手が止まる。
- ・表の空欄に何を書けばよいか分からないときは、問題文の数を表の行・列に1つずつ移させる。式が立てば、あとは解き方どおり。
- ・答え面はxを1通りにおいた解き方。別のおき方(たとえば別の数量をxにする)でも、等しい量を式にできていれば正しい。
- ・印刷: A4・白黒でよい(xは文字のxで見分けられる)。答え面は、生徒に配る前に外す。